



須崎市議会議長
濱 憲 司

迎

市民の期待に応えられる議会へ

市民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。また平素より、市議会の活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、気候変動の激しい年で、経験したことのない大雪や大雨で、日本各地に大きな被害がありました。また、四万十市の江川崎では、国内最高気温41.0度を記録しました。

一方、私たちの生活面においては、国際通貨基金による日本経済に関する2013年の年次審査報告書で、アベノミクスにより景気回復が著しく改善していると評価。しかし、その後の財務省の発表によると国債や借入金、政府短期証券の残高を合計した国の借金が6月末現在で1000兆6281億円となり、初めて1000兆円を突破したと報じています。私たちの現在と将来にわたる大きな問題ですので財政の健全化が急がれます。

景気対策を始め、尖閣諸島をめぐる外交、TPP協議、原子力、医療、年金、介護、子育て支援、さらには私たちが避けては通れない問題として地震津波があります。今、

私たち国民が国政に望むのは、国民に信頼され、安心して生活できる国づくりであります。

須崎市においては、防災、少子高齢化対策、地場産業の育成、若者の定住策等々重要課題があります。その為には住民の声を謙虚に聞き、財政の健全化に努め執行部と共に考え、時には厳しい意見を述べ行政の方向について、修正を迫る判断を行うことも議会の大きな役割であります。そして議会改革特別委員会を通じて議会のあり方についても、幅広く検討を重ねており、全議員がこれまで以上に市民の皆様と共に歩む市政を目指して、期待に応えられる須崎市議会となるように全力で取り組んでおります。どうかまた、本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、市民の皆様にとって良い年でありますようにご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成26年1月

須崎市議会議長 濱 憲 司